

看護系大学の教育等に関する実態調査
Web 回答『操作』マニュアル

<目次>

1. はじめに	2
調査内容	2
回答方法	3
操作方法	4
動作環境	7
回答ページと質問内容	8
2. 起動	9
3. ログイン	9
4. 調査回答入力	10
1 ページ	10
2 ページ	12
3 ページ	13
4 ページ	14
5 ページ	15
6 ページ	16
7 ページ	17
8 ページ	18
9 ページ	18
5. 終了	19
6. その他	19
7. 問合せ先	20

【参考】

■調査票（未記入）

■調査票（記入例と注意事項）

1. はじめに

操作マニュアルは入力操作上の注意書きとして、web 上での入力の注意点を示したものとしてご使用下さい。
例として表示されている年度が前年度を含む古いものになっていたり質問の文言が古い場合もございます。

内容（対象年度や項目など）に関しては、記入例や未記入の調査票を参考にご入力をお願いします。

このマニュアルは、「看護系大学の教育等に関する実態調査」を回答していただくにあたり、より多くの会員の方に回答いただけるようホームページでの回答方法や操作説明を記述したものです。

1) 調査内容

会員の各大学（看護系）の現状についてお答え下さい。

- (1) 大学の学部、学科について
 - ・学部、学科の開講状況
 - ・学部、学科教員数
- (2) 大学院について
 - ・大学院の開講状況
 - ・大学院の教員数
- (3) 在学生、入学生、卒業生について
 - ・在学生数
 - ・入学状況
 - ・卒業生、修了生数、取得免許、進学、就職状況
- (4) 研究活動について
 - ・研究申請数、採択数、研究金額
- (5) 実践現場への貢献について
 - ・公開講座の件数、参加者数
 - ・実践現場への貢献数
- (6) 附属研究機関について
 - ・附属研究機関の設置、組織、財政基盤、活動内容
- (7) 国際交流について
 - ・国際交流協定校
 - ・在学生の留学先
 - ・留学生の受け入れ先
 - ・看護教員の海外派遣
 - ・海外からの受け入れ
- (8) 意見、要望について
 - ・当調査に関するご意見、ご要望

2) 回答方法

- ・ 回答いただく内容は全て実態調査を実施している年の前年度の状況です。
(例：2013 年の実施年ならば、実態調査対象年度は 2012 年度になります。)
- ・ 調査の回答は全てインターネットを通じての回答になります。
- ・ 質問を確認の上、回答してください。
- ・ 回答ページは全部で 9 ページあります。
1 ページから入力が可能です。すぐに回答できない項目などは飛ばして先に進む事ができます。
- ・ 一時保存されたデータは、回答途中で終了した場合でも次回に回答データとして反映されます。
- ・ 全質問の回答が終了するまで何回でも入力は可能です。
- ・ 回答は 1 つのみ選択する場合と、複数選択する場合、数字や名称などを記述形式で入力する場合があります。
- ・ 選択方法は選択肢の先頭にある“○”または“□”をクリックします。
- ・ 回答項目の移動はマウスカーソルの移動または TAB キーで移動します。←↓→↑キー、Enter キーでは移動できません。
- ・ 学内、組織のネットワークのセキュリティで外部へのアクセス制限をされている場合があります。
その場合はすぐに事務局までご連絡ください。

HOME
操作マニュアル
1 ページ目
2 ページ目
3 ページ目
4 ページ目
5 ページ目
6 ページ目
7 ページ目
8 ページ目
9 ページ目
調査終了 (提出)
調査回答内容の閲覧
ウィンドウを閉じる

※ 調査回答 6 ページ

10. 貴大学における看護関連の附属研究・研修機関について伺います。

1) 附属研究・研修機関の有無
☒ ある ☐ ない
 回答は 1 箇所選択

2) あるとお答えになった場合は、組織、活動内容をお答え下さい。

(1) 組織
 注1：2012年5月末日時点の人数を入力して下さい。
 注2：0 人の場合は 0 を入力して下さい。

教員	18	人
研究員	2	人
職員	1	人
その他	1	人

人数、件数等を数字で入力

(2) 財政基盤
☒ 大学の予算内 ☐ 国・自治体の助成 ☐ 民間の助成
☐ その他

(3) 活動内容 (複数選択可)
☒ 市民向けの生涯学習・健康教育 ☒ 国際交流
☐ 共同研究 ☐ 教員や研究員による看護実践の提供
☐ 看護職のための継続教育
☐ 講師の派遣 ☐ 認定看護師教育課程
☐ その他

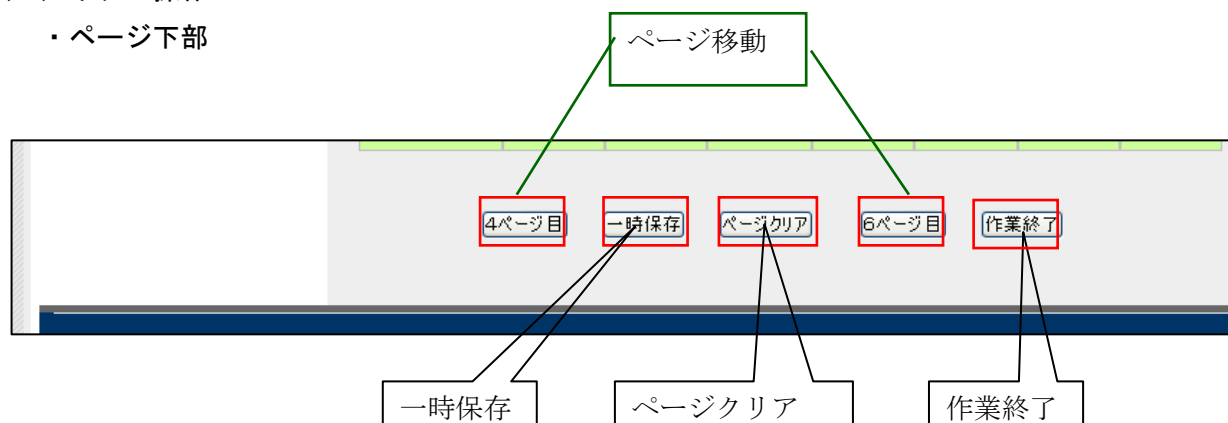
回答は複数選択可能

5 ページ目 一時保存 ページクリア 7 ページ目 作業終了

3) 操作方法

(1) ボタン操作

・ ページ下部



【○ページ目】 ボタン（ページ移動）

表示されている前後のページへ移動します。

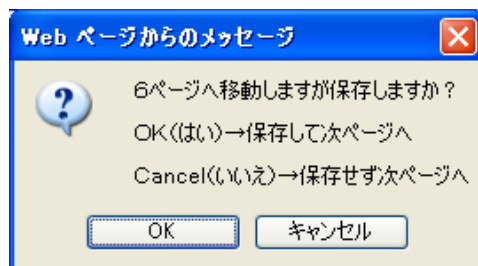
前後のページへの入力作業に移る時に利用します。

移動時に作業ページのデータを保存するか確認を行います。

データを保存してない場合は必ず保存後移動してください。

保存しないで移動した場合は作業ページのデータは登録されません。

※データ保存確認メッセージ



【一時保存】 ボタン

表示されているページのデータを保存します。

入力作業の途中などに一旦データを保存するときに利用します。

保存せずにページを移動したりブラウザを閉じてしまった場合そのページの一番最後に保存された状態のままになります。

【ページクリア】 ボタン

表示されているデータを全て初期化（空白）します。

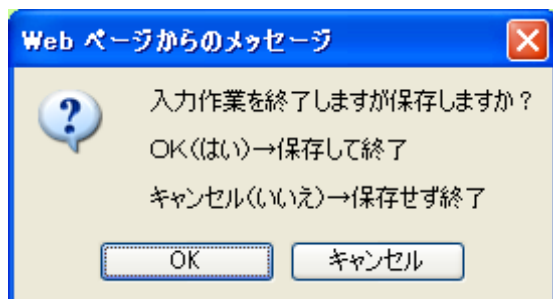
ページクリア後データ登録するとデータは全て入力していない状態になります。

【作業終了】ボタン

全ページ回答していないが作業を中断するときに利用します。

HOMEに戻りブラウザを閉じて終了してください

※データ保存確認メッセージ



・ ページ左サイド

【HOME】ボタン

トップページのログイン画面に移動します。

【操作マニュアル】ボタン

操作マニュアル（本書）を含む

1) 操作マニュアル

2) 調査票（未記入）

3) 記入例と注意事項

を表示します。

PDFファイルで作成されており、
ダウンロードも可能です。

操作マニ
ュアル表示

ページボタン

調査終了



【○ページ目】ボタン

○ページへ直接移動します。

このボタンはデータ保存の機能はないため

データ入力時には移動前に必ず一時保存を行ってください。

【調査終了（提出）】ボタン

全ページ回答後回答データの提出確認ボタンになります。

全ての質問に回答後の操作となります。

データにエラーがないか確認をしてから提出をお願いします。

調査終了（提出）ボタンから提出済みになった場合、以降ログインができなくなります。

(2) キーボードでの入力

名称、人数、件数の回答はキーボードにて入力します。

人数、件数は数字以外の文字は入力できません。また事前に入力できる桁数を設定しております。

万一回答データが設定桁数を超えている場合は事務局までご連絡ください。

(3) エラーメッセージ

データの読み込み、一時登録などを行うと表示ページ内のデータをチェックします。

主なチェック内容は、未記入項目、異常値、論理チェック（回答項目間の整合性）などです。

エラーメッセージはページ下段に表示されます。

メッセージ内容を確認の上エラーデータを修正、入力します。

調査終了（提出）時に全回答に関して再度エラーチェックを行います。

メッセージを確認の上提出してください。

【各ページに表示されるエラーメッセージ】

博士後期課程修了 人

論文博士号取得 人

エラーメッセージ

- 4.学部生・志願者数・男性の数字を確認してください。
- 4.修士課程・志願者数・女性の数字を確認してください。
- 4.博士後期課程・志願者数・女性の数字を確認してください。
- 5.修士課程修了生・専門看護師課程の数字を確認してください。

2ページ目 一時保存 ページクリア 4ページ目

【最終提出時に表示されるエラーメッセージ】

HOME

操作マニュアル

1ページ目

2ページ目

3ページ目

4ページ目

5ページ目

6ページ目

7ページ目

8ページ目

9ページ目

調査完了

☆ 調査完了

P1

P2

正式名称について未記入です。

P3

- 4.学部生・志願者数・男性の数字を確認してください。
- 3.在学生数・男性内訳が合いません。
- 3.在学生数・女性内訳が合いません。
- 3.修士課程・男性内訳が合いません。
- 3.修士課程・女性内訳が合いません。
- 4.学部生・志願者数・男性の数字を確認してください。
- 4.修士課程・志願者数・女性の数字を確認してください。
- 4.博士後期課程・志願者数・女性の数字を確認してください。
- 4.専門看護師課程・男性志願者数と入学者数が合いません。

エラーメッセージ

表示されました インターネット

4) 動

推奨環境

項目		環境	備考
ハードウェア 環境	本体	以下の OS がサポートしている P C / A T 互換機（D O S / V 機）。 Windows XP、Windows Vista	
	C P U	Intel PentiumⅡ プロセッサ 266M H z（もしくは同等の互換プロセッサ）以上で、本体 OS の推奨値以上。	
	メモリ	1 2 8 M B 以上で、本体 OS 推奨値以上。	
	インターネット接続	インターネットへ接続できること	
ソフトウェア 環境	対応 O S	Windows XP、Windows Vista	
	対応ブラウザ （インターネット閲覧ソフト）	いずれかのブラウザ ・ Internet Explorer7 ・ Internet Explorer8	

※上記環境は必ずしも動作を保証するものではありません。

5) 回答ページと質問内容



2. 起動

- 1) 所有パソコンのインターネットエクスプローラを起動し、一般社団法人看護系大学協議会（JANPU）ホームページの会員校専用ページログインメニューから開きます。

【一般社団法人日本看護系大学協議会ホームページ】

URL : <http://www.janpu.or.jp/>

3. ログイン

会員校専用ページログイン画面からログインをします。

会員校メニューの「看護系大学の教育などに関する実態調査」ボタンをクリックすると実態調査の初期画面（HOME）が開きます。

HOME 上のガイダンスを必ずお読みください。

4. 調査回答入力

1) 1 ページ (問 1、問 2)

(1) 回答窓口、所属

回答内容の問い合わせなどに必要になります。

必ず入力してください

(2) 問 1 看護系学部について

・ 完成年次を迎えているか

・ 編入制度

編入制度とは学士編入・短期大学からの編入など学年の中途からの入学をさします

・ 教員数

その他の定義は、教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含みません。

「それ以外の教員」とは、看護教員（看護師免許を有する教員）以外の教員のことです。

例えば、基礎医学や英語、体育等の教養科目や基礎科目を担当の教員のことです。

看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のことです。

0 人の場合は 0 を入力して下さい。

・ 教員の年齢構成

・ 教員の最終習得学位の人数

選択での回答はそれぞれ 1 つです。

教員数は該当人数を入力します。

※ 調査回答 1 ページ

※大学名・設置主体を確認し、下記内容にご記入

■大学名 : テスト大学

■設置主体 : 国立

■回答窓口 (お名前) : 田中 一郎

■所属 : 看護学部 事務室

1. 大学の看護系の学部学科についてお伺いします

1) 貴大学の看護系の学部が2012 年度において卒業生を出しましたか。

☒ 出している ☐ 出していない

2) 看護系学部学科の編入制度

※ここでの編入制度とは学士編入・短期大学からの編入など学年の中途からの入学をさします。

☒ ある ☐ ない

3) 2012年度 (2012年5月末日時点) における看護系学部もしくは学科に所属する全教員数 (附属研究機関も含む) について、以下の表に人数をご記入下さい。

(3) 問2 看護系大学院について

看護系大学院設置の有無

看護系大学院が設置されていない場合は2ページ目の部分の回答は不要です

☒ ある ☐ ない
 ※ここでの編入制度とは学士編入・短期大学からの編入など学年の中途からの入学をさします。
 2009年度(2009年5月末日時点)における看護学部もしくは学科に所属する全教員数(附属研究機関も)について、以下の表に人数をご記入下さい。

注1: その他の定義は、教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含まない。
 注2: 「それ以外の教員」とは、看護教員(看護師免許を有する教員)以外の教員のこと。
 例えば、基礎医学や英語、体育等の教養科目や基礎科目を担当の教員のこと。
 注3: 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
 注4: 0人の場合は0を入力して下さい。

	看護教員	それ以外の教員
■教授	10 人	11 人
■准教授	12 人	13 人
■講師	14 人	15 人
■助教	16 人	17 人
■助手	18 人	19 人
■その他	20 人	21 人

2. 看護系大学院についてお答えください

1) 看護系大学院がありますか

☒ ある ☐ ない

看護系大学院の有無

一時保存 ページクリア 2ページ目

が表示されました

インターネット

(4) 一時保存

回答入力後一時保存ボタンで入力データを保存します。

一時保存をしないでページ移動をすると回答データが消えてしまいます。

ページ移動時、終了時には必ず一時保存を行ってください。

(5) 次ページへ移動

回答ページの次ページへ移動する場合“次ページ”ボタンをクリックします。

一時保存の確認が表示されますので移動する場合は一時保存後“OK”をクリックすることで次ページへ移動します。

同様に前ページボタンも一時保存後移動します。

(6) 他のページへ移動

サイドバーのページボタンをクリックします。

ここでも一時保存の確認が出ますので一時保存後“OK”で移動します。

(7) 回答データのクリア

入力したページのデータを全て初期状態に戻します。

一時保存、ページ移動、ページクリアは全ページ共通です

2) 2 ページ (問 2)

(1) 問 2 看護系大学院について

大学院がある大学のための回答になります。

- ・ 完成年次を迎えているか
- ・ 開講状況

開講状況の夜間とは「18 時からの開講」と定義します。

- ・ 履修制度の設置
- ・ 教員数

HOME
操作マニュアル
1ページ目
2ページ目
3ページ目
4ページ目
5ページ目
6ページ目
7ページ目
8ページ目
9ページ目
調査終了(提出)

調査回答 2ページ

大学名 : 評価大学
設置主体 : 評価学部

以下2)から5)の質問は、「看護系大学院がある」と回答した大学のみ回答

3) 貴大学が2009年度において完成年次を迎えているかどうかについて、お選び下さい。
 (1) 看護系の修士課程 : ☒ 迎えている ☐ 迎えていない
 (2) 看護系の博士課程 : ☐ 迎えている ☒ 迎えていない ☐ 開設していない

4) 看護系大学院の2009年度開講状況について、各項目ごとにあてはまるものを1つお選び下さい。
 (1) 看護系大学院の開講状況 : ☒ 昼間開講のみ ☐ 夜間開講のみ ☐ 昼夜間開講
 注1: 夜間開講の定義は「18時から開講」すること。
 (2) 科目等履修制度の設置 : ☒ 設置している ☐ 設置していない

5) 2009年度(2009年5月末日時点)における看護学を担当している大学院に所属する全教員数(附属研究機関も含む)について、以下の表に人数をご記入下さい。

注1: その他の定義は、教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者など
 注2: 「それ以外の教員」とは、看護教員(看護師免許を有する教員)以外の教員のこと
 注3: 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと
 注4: 0人の場合は0を入力して下さい。

	看護教員	それ以外の教員
教授	人	人
准教授	人	人
講師	人	人
助教	人	人
助手	人	人
その他	人	人

0 人の場合は“0”
と入力

1ページ目 一時保存 ページクリア 3ページ目

表示されました インターネット

3) 3 ページ (問 3、問 4、問 5)

(1) 問 3 看護系学部・学科の全在学学生数について

- ・学部生、修士課程、博士課程のそれぞれの男女別の在学学生数を入力します。
- ・学部生のうち編入生数と修士課程の専門看護師課程はそれぞれ別に人数を入力します。

HOME 操作マニュアル 1ページ目 2ページ目 3ページ目 4ページ目 5ページ目 6ページ目 7ページ目 8ページ目 9ページ目 作業終了

調査回答 3ページ

■大学名 : 評価大学
■設置主体 : 評価学部

3. 2009年度(2009年5月末日時点)における看護系学部・学科の全在学学生数について、以下の表にご記入下さい。

		男		女	
学部生	全体		人		人
	上記のうち編入学生		人		人
修士課程または博士前期課程院生	修士課程		人		人
	上記のうち専門看護師課程		人		人
博士後期課程院生			人		人

0 人の場合は“0”と入力

編入生

専門看護師課程

(2) 問 4 看護系学部、学科の入学状況

- ・学部生、修士課程、博士課程の定員数と志願者数、入学者数を男女別に入力します。
- ・修士課程は、専門看護師課程を別に入力します。

4. 2009年度における看護系学部・学科の入学状況(2009年4月入学生)について、以下の表の項目ごとに記入下さい。

		定員数	男		女	
学部生	定員数		人		人	
	志願者数		人		人	
	入学者数		人		人	
修士課程	修士課程定員数		人		人	
	志願者数		人		人	
	入学者数		人		人	
	上記のうち専門看護師課程定員数		人		人	
	志願者数		人		人	
	入学者数		人		人	
博士後期課程定員数			人		人	
	志願者数		人		人	
	入学者数		人		人	

0 人の場合は“0”と入力

専門看護師課程

(3) 問 5 看護系学部、学科の卒業生・修了生の人数

- ・学部、修士課程、博士課程の卒業生・修了生の人数を入力します。
- ・学部生は編入生を、修士課程は専門看護師課程をそれぞれ別に入力します。
- ・卒業時取得免許または既取得免許についても、看護師、保健師、助産師、看護教諭1級の取得者数を入力します。
- ・博士課程では論文博士号取得者数も入力します。

5. 2009年度における看護系学部・学科の卒業生・修了生の数を以下の表にご記入下さい。
また、回答時点で把握している2009年度失業・修了生の取得した、または既取得免許の状況についても、以下の表に記入して下さい。

		卒業生・修了生の人数	卒業時取得・既取得免許(人数)			
			看護師	保健師	助産師	看護教諭1種
学部卒業生	全体		人	人	人	人
	上記のうち編入学生		人	人	人	人
修士課程修了	修士課程		人	人	人	人
	上記のうち専門看護師課程		人	人	人	人
博士後期課程修了			人	人	人	人
論文博士号取得			人	人	人	人

取得・機取得免許

0 人の場合は“0”と入力

論文博士号取得

4) 4 ページ (問 6、問 7)

(1) 問 6 看護系学部・学科の卒業・修了生の就職、進学状況

- ・卒業生・修了生の就職先、進学先別に人数を入力します。
- ・修士課程は専門看護師課程を別に入力します。

6. 2009 年度における看護系学部・学科の卒業・修了生(2010 年3 月卒業生・修了生)の卒業・修了時点での就職または進学状況について伺います。
就職者、進学者の総数およびその内訳を以下の表に記入して下さい。

就職、進学先

卒業製・修了生

就職先・進学先別	学部卒業生	修士修了生		
		修士課程	うち専門看護師課程	博士後期課程修了生
病院	人	人	人	人
診療所	人	人	人	人
福祉関係施設	人	人	人	人
訪問看護ステーション	人	人	人	人
保健所・市町村・健康センター	人	人	人	人
企業	人	人	人	人
学校	人	人	人	人
大学・短大・研究機関等	人	人	人	人
専修・各種学校	人	人	人	人
その他	人	人	人	人
国内の大学 看護系	人	人	人	人
院 看護系以外	人	人	人	人
進学者内訳 助産師課程	人	人	人	人
国内の他学部	人	人	人	人
海外留学	人	人	人	人
その他	人	人	人	人

(2) 問 7 看護系学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動

- ・看護系学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動のうち、研究代表者になっているものについて申請数、採択数、合計金額を研究申請先、研究種類別に入力します。
- ・外貨での実績は円換算して入力します。
- ・申請年度が 2012 年、採択結果は 2013 年度のものを記入ください。
研究代表者として新規に申請したもののみ記入ください。
- ・回答のない項目は“0”件として処理されます。

7. 2012 年度における貴大学の看護系の学部、学科、大学院に所属する教員(医療系の資格をもたない人も含む)の研究活動について伺います。
研究代表者になっているものについて以下の表に、申請数・採択数・および合計金額を記入下さい。
共同研究者、分担研究者は除きます。

注1: 外国政府などによる外貨での実績は、円換算して表記。
注2: 申請年度が2012年、採択結果は2013年度~のものをご記入ください。研究代表者として新規に申請したもののみご記入ください。

研究種類

研究活動	新規件数(研究代表者)		継続件数	合計金額(千円)
	申請件数	採択件数		
文部科学省 基盤研究(A)	件	件	件	千円
基盤研究(B)	件	件	件	千円
基盤研究(C)	件	件	件	千円
科学研究費補助金 挑戦的萌芽的研究	件	件	件	千円
奨励研究	件	件	件	千円
若手研究	件	件	件	千円
特別推進研究	件	件	件	千円
その他	件	件	件	千円
厚生労働科学研究費補助金	件	件	件	千円
財団等の研究助成による研究	件	件	件	千円
企業等による教育研究奨励費	件	件	件	千円
企業等による受託研究費	件	件	件	千円
その他	件	件	件	千円

5) 5 ページ (問 8、問 9)

(1) 問 8 看護系学部、学科、専攻が主催した公開講座について

- ・学部、学科、専攻が主催した公開講座の件数、参加延べ人数を入力します。
- ・主な対象者別に無料、有料のそれぞれの件数を入力します。
- ・“0” 件及び “0” 人の場合は “0” を入力します。

8. 2009年度において看護系の学部、学科、専攻が主催して実施した公開講座について件数、総延べ参加人数をご記入下さい。

注: 0件および0人の場合は0を入力して下さい。

主な対象者	参加費用	件数	総延べ参加人数
■一般市民	無料	件	人
	有料	件	人
■看護職者	無料	件	人
	有料	件	人
■その他	無料	件	人
	有料	件	人

件数

人数

(2) 問 9 看護系学部、学科、大学院に所属する教員の実践現場への貢献

- ・看護系学部、学科、大学院に所属する教員の実践現場への貢献の活動について入力します。
- ・共同研究、講師派遣、その他（各種委嘱委員等）の件数を入力します。
- ・同一委員会等への参加は1件とし兼業を含めてもかまいません。

9. 2009年度における貴大学の看護系の学部、学科、大学院に所属する教員（医療系の資格をもたない人も含む）の実践現場への貢献について伺います。

注1: 同一テーマもしくは同一委員会・審議会の委嘱については期間中数回会議等に参加しても、1件として数えて下さい。

注2: 兼業を含めてよい。

	病院	保健所、訪問看護ステーション等	職能団体	行政(国、地方自治体)	教育研究機関	企業	その他
共同研究	件	件	件	件	件	件	件
講師派遣	件	件	件	件	件	件	件
その他(各種委嘱委員等)	件	件	件	件	件	件	件

6) 6 ページ (問 10)

(1) 問 10 看護関連の附属研究機関について

- ・附属研究機関の有無について入力します。
- ・附属研究機関がある場合はさらに組織、財政基盤、活動内容を入力します。

> 2ページ目

> 3ページ目

> 4ページ目

> 5ページ目

> 6ページ目

> 7ページ目

> 8ページ目

> 9ページ目

> 調査終了(提出)

10. 貴大学における看護関連の附属研究機関について伺います。

1) 附属研究機関の有無

☐ ある ☒ ない

2) あるとお答えになった場合は、組織、活動内容をお答え下さい。

(1) 組織

注1: 2009年5月末日時点の人数を入力して下さい。
注2: 0人の場合は0を入力して下さい。

教員	:		人
研究員	:		人
職員	:		人
その他	:		人

(2) 財政基盤

☐ 大学の予算内 ☐ 国・自治体の助成 ☐ 民間の助成
☐ その他

(3) 活動内容(複数選択可)

☐ 市民向けの生涯学習・健康教育 ☐ 国際交流
☐ 共同研究 ☐ 教員や研究員による看護実践の提供
☐ 看護職のための継続教育
☐ 講師の派遣 ☐ 認定看護師教育課程
☐ その他

複数回答

7) 7 ページ (問 1 1)

(1) 問 1 1 看護系学部、学科、大学院の国際交流状況について

- ・国際交流協定校・施設の有無を入力します。
- ・施設がある場合国別件数を入力
- ・看護系学部、学科、大学院の留学先の国別人数と公費補助の人数を入力します。
- ・看護系学部、学科、大学院の留学先の受け入れについて国別人数と公費補助の人数を入力します。
- ・看護系学部、学科、大学院に所属する教員の短期海外派遣について国別人数と公費補助の人数を入力します。
- ・国別は 1 0 カ国が固定になっています。その他の国に該当する場合は国名を入力し、それぞれの件数を入力します。
- ・その他の国は最大 1 0 カ国までです。1 1 カ国以上ある場合は件数、人数の多いものを採用します。

【国際交流協定校・施設】

11. 2009 年度における貴大学の看護系の学部、学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

1) 看護系の学部、学科、大学院の国際交流協定校・施設(姉妹校を含む)がありますか。
☒ 有る ☐ ない

2) 国際交流協定校・施設がある場合には、下表1から10までの国名別に件数をご記入下さい。
 また、1から10以外の国で国際交流協定校・施設がある場合は、その他欄に国名を記入し、件数をご記入下さい。

国名	件数
1 : アメリカ合衆国	件
2 : カナダ	件
3 : 中国	件
4 : 韓国	件
5 : タイ	件
6 : フィリピン	件
7 : イギリス	件
8 : フィンランド	件
9 : スウェーデン	件
10 : オーストラリア	件
【その他の国の場合は以下に国名を記入してください】	
11 :	件
12 :	件
13 :	件
14 :	件
15 :	件
16 :	件
17 :	件
18 :	件
19 :	件
20 :	件

上段 1 0 カ国にない場合
 国名を入力し、横に
 件数を入力

該当する国別に件
 数を入力

【留学先、留学生受け入れ、教員の短期海外派遣】

国名	人数	公費補助あり
1 : アメリカ合衆国	人	人
2 : カナダ	人	人
3 : 中国	人	人
4 : 韓国	人	人
5 : タイ	人	人
6 : フィリピン	人	人
7 : イギリス	人	人
8 : フィンランド	人	人
9 : スウェーデン	人	人
10 : オーストラリア	人	人
【その他の国の場合は以下に国名を記入してください】		
11 :	人	人
12 :	人	人
13 :	人	人
14 :	人	人
15 :	人	人
16 :	人	人
17 :	人	人
18 :	人	人
19 :	人	人
20 :	人	人

上段10カ国にない場合
国名を入力し、横に
件数を入力

該当する国別
に人数を入力

公費補助があっ
た場合の人数

8) 8 ページ (問 1 1)

(1) 問 1 1 看護系学部、学科、大学院の国際交流状況について

- ・看護系学部、学科、大学院に所属する教員の短期海外派遣について国別人数と公費補助の人数を入力します。
- ・学生以外(教員、研究者、実践家等)の海外からの国別受け入れ人数と公費補助の人数を入力します。
- ・入力方法は7ページと同一です。

国名	人数	公費補助あり
1 : アメリカ合衆国	人	人
2 : カナダ	人	人
3 : 中国	人	人
4 : 韓国	人	人
5 : タイ	人	人
6 : フィリピン	人	人
7 : イギリス	人	人
8 : フィンランド	人	人
9 : スウェーデン	人	人
10 : オーストラリア	人	人
【その他の国の場合は以下に国名を記入してください】		
11 :	人	人
12 :	人	人
13 :	人	人
14 :	人	人
15 :	人	人
16 :	人	人
17 :	人	人
18 :	人	人
19 :	人	人
20 :	人	人

1) 9 ページ (問 1 3)

問 1 3 本調査に関する意見、要望

5. 終了

1) 調査終了 (提出)

- (1) 全データのチェックを行います。データにエラーがないことを確認して回答を提出します。
- (2) データを充分確認の上 提出してください。

(3) 提出後も入力期限まで何度でもログインできます。

2) 調査入力途中終了

- (1) 入力途中で終了します。

6. その他

- 1) 回答いただいた情報は厳重に管理します。また調査結果は一般社団法人日本看護系大学協議会が集計作業を行い、調査を実施した当該年度の「平成〇〇年度事業活動報告書」に掲載する目的にのみ使用します。回答データは個別の公開はいたしません。
- 2) 調査には個人情報を取り扱う項目はありません。個人情報は記入しないでください。
- 3) 回答ページでは「保存して次のページ」ボタンを押すと、そのページの回答内容が保存されて次のページが表示されます。
- 4) 回答ページでは「前のページ」、「メニューへ戻る」、「ログアウト」の各ボタンを押した場合、現在のページは保存されません。
- 5) ログイン中はブラウザの「戻る」、「進む」、「中止」、「更新」等のボタンは押さないでください。
- 6) 英数字は半角、その他は全角でご記入ください。半角カンマと改行は使用できません。
- 7) 同一ページを複数人で同時刻に入力すると最後に保存した方の入力分のみが上書き保存されます。同時刻にそれぞれ他のページの入力は問題ありません。
- 8) 回答途中でも受付期間を過ぎると回答を継続することはできません。早めの回答をお願いします。
- 9) 調査回答期間は HP 上の実態調査の各ページのトップに記載されています。必ずご確認ください。
- 10) 回答途中でも締め切り期日になると入力できなくなります。

7. 問い合わせ先

※調査の内容、集計に関すること。

お問い合わせはメールでお願いいたします。

筑波大学医学医療系＜保健・医療学域＞

(データベース整備・検討委員会 委員長 川口 孝泰)

e-mail : kawat@md.tsukuba.ac.jp

※学校コード、パスワードに関すること

一般社団法人日本看護系大学協議会事務局

e-mail : office@janpu.or.jp 電話 : 03-6206-9451

看護系大学の教育等に関する実態調査
【調査票】

大学名

設置主体

回答窓口（お名前）

所属

1. 大学の看護系の学部学科についてお伺いします

- 1) 貴大学の看護系の学部が 2012 年度において卒業生を出しましたか。

☐ 出している ☐ 出していない

- 2) 看護系学部学科の編入制度

※ここでの編入制度とは学士編入・短期大学からの編入など学年の中途からの入学をさします。

☐ ある ☐ ない

- 3) 2012 年度（2012 年 5 月末日時点）における看護系学部もしくは学科に所属する
- 全教員数（附属研究機関も含む）
- について、以下の表に人数をご記入下さい。

注 1:その他の定義は、教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含まない。

注 2:「それ以外の教員」とは、看護教員（看護師免許を有する教員）以外の教員のこと。

例えば、基礎医学や英語、体育等の教養科目や基礎科目を担当の教員のこと。

注 3:看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。

注 4:0 人の場合は 0 を入力して下さい。

注 5:未充足数とは、募集しているにもかかわらず、適任者を得られていない人数。

	看護教員	それ以外の教員
教授		
准教授		
講師		
助教		
助手		
その他		
合計		
未充足数		

4) 2012 年度（2012 年 5 月末日時点）における看護系学部もしくは学科に所属する看護教員（附属研究機関も含む）の年齢構成の各人数をご入力下さい。

年齢構成	人数
29 歳以下	
30～34	
35～39	
40～44	
45～49	
50～54	
55～59	
60～64	
65 歳以上	
合計	

5) 2012 年度（2012 年 5 月末日時点）における看護系学部もしくは学科に所属する看護教員（附属研究機関も含む）の最終修得学位名称の人数をご入力下さい。

学位名称	学士	修士	博士	合計
看護学				
保健学				
医学				
教育学				
学術				
上記以外				
学位なし				
合計				

***教員一人あたりひとつの学位でご記入ください。その際、最後に取得した学位を記入してください。看護学以外の別の学位も持っているときは、看護学を優先してご記入ください。**

***3) ～5) の右下の合計値内の数が一致しているかをご確認ください。**

2. 看護系大学院についてお伺いします

1) 看護系大学院がありますか

ある	ない
----	----

以下 2) ～3) の質問は、「看護系大学院がある」と回答した大学のみ回答

2) 2012 年度において修了生を出しているかどうかについて、お聞きます。

(1) 看護系の修士課程または博士前期課程

修了生を出している（完成年次を迎えた）	修了生を出していない
---------------------	------------

(2) 看護系の博士後期課程

修了生を出している（完成年次を迎えた）	修了生を出していない	開設していない
---------------------	------------	---------

3) 看護系大学院の 2012 年度開講状況について、各項目にあてはまるものを 1 つお選び下さい。

(1) 看護系大学院の開講状況

平日昼間開講のみ	平日夜間・土日開講のみ	左記両方を開講
----------	-------------	---------

注 1：夜間開講の定義は「18 時から開講」すること。

(2) 科目等履修制度の設置

設置している	設置していない
--------	---------

4) 2012 年度（2012 年 5 月末日時点）における看護学系大学院に所属する全教員数（附属研究機関も含む）について、以下の表に人数をご記入下さい。

注 1: その他の定義は、教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含まない。

注 2: 「それ以外の教員」とは、看護教員（看護師免許を有する教員）以外の教員のこと。

注 3: 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。

注 4: 0 人の場合は 0 を入力して下さい。

	看護教員	それ以外の教員
教授	人	人
准教授	人	人
講師	人	人
助教	人	人
助手	人	人
その他	人	人
合 計	人	人

3. 2012 年度(2012 年 5 月末日時点)における全在学生数について、以下の表に人数をご記入下さい。

		人数	
		男	女
学部生			
	上記のうち編入学生		
修士課程または博士前期 課程院生			
	上記のうち専門看護師課程		
博士後期課程院生			

4. 2012 年度における看護系学部、学科の入学状況（2012 年 4 月入学生）について、以下の表の項目ごとに人数をご記入下さい。

		定員数		人数（人）	
				男	女
学部生			志願者数		
			入学者数		
修士課程			志願者数		
			入学者数		
	上記のうち専門看護師課程		志願者数		
			入学者数		
博士後期課程			志願者数		
			入学者数		

5. 2012 年度における卒業生・修了生の数を以下の表にご記入下さい。

また、回答時点で把握している 2012 年度卒業・修了生の取得した、または既取得免許の状況についても、以下の表に記入して下さい。

注：博士後期課程修了とは、修了要件を満たし学位論文の審査に合格し博士の学位を取得した者、満期修了退学は含まない。

		卒業生・ 修了生	卒業時取得・既取得免許（人数）			
			看護師	保健師	助産師	養護教諭 1 種
学部卒業生						
	上記のうち編入学生					
修士課程修了						
	上記のうち 専門看護師課程					
博士後期課程修了						
論文博士号取得						

6. 2012 年度における卒業・修了生（2013 年 3 月卒業生・修了生）の卒業・修了時点での就職または進学状況について、伺います。就職者、進学者の総数およびその内訳を以下の表に記入して下さい。

就職先・進学先別			学部 卒業生	修士修了生		博士後期課程 修了生
				うち専門看護師課程		
就 職 者 内 訳	病院					
	診療所					
	福祉関係施設					
	訪問看護ステーション					
	保健所・市町村・健診センター					
	企業					
	学校					
	大学・短大・研究機関等					
	専修・各種学校					
	その他					
進 学 者 内 訳	国内の 大学院	看護系				
		看護系以外				
	助産師課程(専攻科、別科、専修学校、等)					
	国内の他学部					
	海外留学					
	その他					

7. 2012 年度における貴大学の看護系の学部、学科、大学院に所属する教員（医療系の資格をもたない人も含む）の研究活動について伺います。研究代表者になっているものについて以下の表に、申請数・採択数・および合計金額をご記入下さい。共同研究者、分担研究者は除きます。

注 1：外国政府などによる外貨での実績は、円換算して表記。

注 2：申請年度が 2012 年、採択結果は 2013 年度のものを記入下さい。研究代表者として新規に申請したもののみ記入下さい。

研究活動		新規件数（研究代表者）		継続件数	合計金額 (千円)
		申請件数	採択件数		
文部科学省	基盤研究（A）				
	基盤研究（B）				
	基盤研究（C）				
科学研究費 補助金	挑戦的萌芽的研究				
	奨励研究				
	若手研究				
	特別推進研究				
	その他				
厚生労働科学研究費補助金					
財団等の研究助成による研究					
企業等による教育研究奨励費					
企業等による受託研究費					
その他					

8. 2012 年度において看護系の学部、学科が主催して実施した公開講座について件数、総延べ参加人数をご記入下さい。

注：0 件および 0 人の場合は 0 を入力して下さい。

主な対象者	参加費用	件数	総延べ参加人数
一般市民	無料		
	有料		
看護職者	無料		
	有料		
その他	無料		
	有料		

9. 2012 年度における貴大学の看護系の学部、学科、大学院に所属する教員（医療系の資格をもたない人も含む）の実践現場への貢献について伺います。

注 1：同一テーマもしくは同一委員会・審議会の委嘱については期間中数回会議等に参加しても、1 件として数えて下さい。

	病院	保健所、訪問看護ステーション等	職能団体	行政 (国、地方自治体)	教育研究 機関	企業	その他
共同研究							
講師派遣							
その他 (各種委嘱委員等)							

10. 貴大学における、看護関連の附属研究・研修機関について伺います。

- 1) 附属研究・研修機関の有無

ある ない

- 2) 「ある」とお答えになった場合は、組織、活動内容等をお答え下さい。

- (1) 組織

注 1：2012 年 5 月末日時点の人数を入力して下さい。

注 2：0 の場合は 0 を入力して下さい。

教員	
研究員	
職員	
その他	

- (2) 財政基盤（複数選択可）

大学の予算内 国・自治体の助成 民間の助成 その他（ ）

(3)活動内容（複数選択可）

市民向けの生涯学習・健康教育
教員や研究員による看護実践の提供
講師の派遣
その他（

国際交流
看護職のための継続教育
認定看護師教育課程
）

共同研究

11. 2012 年度における貴大学看護系の学部、学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

1) 国際交流協定校・施設（姉妹校を含む）がありますか。

ある ない

2) 看護系の学部、学科、大学院国際交流協定校・施設がある場合には、下表 1～10 までの国名別に件数をご記入下さい。また、1～10 以外の国で国際交流協定校・施設がある場合は、その他欄に国名を記入し、件数をご記入下さい。

	国名	件数（件）
1	アメリカ合衆国	件
2	カナダ	件
3	中国	件
4	韓国	件
5	タイ	件
6	フィリピン	件
7	イギリス	件
8	フィンランド	件
9	スウェーデン	件
10	オーストラリア	件
11	その他 1（国名記載）	件
12	その他 2（国名記載）	件
13	その他 3（国名記載）	件
14	その他 4（国名記載）	件
15	その他 5（国名記載）	件
16	その他 6（国名記載）	件
17	その他 7（国名記載）	件
18	その他 8（国名記載）	件
19	その他 9（国名記載）	件
20	その他 10（国名記載）	件

- 3) 看護系の学部、学科、大学院の在学生の留学先（単位取得できるものとする）について下表 1～10 までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～10 以外の国で在学生の留学先がある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

	国名	人数	そのうち 公費補助あり
1	アメリカ合衆国	人	人
2	カナダ	人	人
3	中国	人	人
4	韓国	人	人
5	タイ	人	人
6	フィリピン	人	人
7	イギリス	人	人
8	フィンランド	人	人
9	スウェーデン	人	人
10	オーストラリア	人	人
11	その他 1（国名記載）	人	人
12	その他 2（国名記載）	人	人
13	その他 3（国名記載）	人	人
14	その他 4（国名記載）	人	人
15	その他 5（国名記載）	人	人
16	その他 6（国名記載）	人	人
17	その他 7（国名記載）	人	人
18	その他 8（国名記載）	人	人
19	その他 9（国名記載）	人	人
20	その他 10（国名記載）	人	人

- 4) 看護系の学部、学科、大学院の留学生の受け入れについて下表 1～6 までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～6 以外の国で留学生の受け入れがある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

	国名	人数	そのうち 公費補助あり
1	中国	人	人
2	韓国	人	人
3	タイ	人	人
4	フィリピン	人	人
5	インドネシア	人	人
6	シンガポール	人	人
7	その他 1（国名記載）	人	人
8	その他 2（国名記載）	人	人
9	その他 3（国名記載）	人	人
10	その他 4（国名記載）	人	人
11	その他 5（国名記載）	人	人
12	その他 6（国名記載）	人	人
13	その他 7（国名記載）	人	人
14	その他 8（国名記載）	人	人
15	その他 9（国名記載）	人	人
16	その他 10（国名記載）	人	人
17	その他 11（国名記載）	人	人
18	その他 12（国名記載）	人	人
19	その他 13（国名記載）	人	人
20	その他 14（国名記載）	人	人

- 5) 看護系の学部、学科、大学院に所属する教員（医療系の資格をもたない人も含む）の短期海外派遣（6ヶ月未満）について下表1～10までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～10以外の国で看護教員の短期海外派遣がある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

	国名	人数	そのうち 公費補助あり
1	アメリカ合衆国	人	人
2	カナダ	人	人
3	中国	人	人
4	韓国	人	人
5	タイ	人	人
6	フィリピン	人	人
7	イギリス	人	人
8	フィンランド	人	人
9	スウェーデン	人	人
10	オーストラリア	人	人
11	その他1（国名記載）香港	人	人
12	その他2（国名記載）	人	人
13	その他3（国名記載）	人	人
14	その他4（国名記載）	人	人
15	その他5（国名記載）	人	人
16	その他6（国名記載）	人	人
17	その他7（国名記載）	人	人
18	その他8（国名記載）	人	人
19	その他9（国名記載）	人	人
20	その他10（国名記載）	人	人

- 6) 看護系の学部、学科、大学院に所属する教員（医療系の資格をもたない人も含む）長期海外派遣（6ヶ月以上）について下表1～10までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～10以外の国で看護教員の長期海外派遣がある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

	国名	人数	内、公費補助あり
1	アメリカ合衆国	人	人
2	カナダ	人	人
3	中国	人	人
4	韓国	人	人
5	タイ	人	人
6	フィリピン	人	人
7	イギリス	人	人
8	フィンランド	人	人
9	スウェーデン	人	人
10	オーストラリア	人	人
11	その他1（国名記載）	人	人
12	その他2（国名記載）	人	人
13	その他3（国名記載）	人	人
14	その他4（国名記載）	人	人
15	その他5（国名記載）	人	人
16	その他6（国名記載）	人	人
17	その他7（国名記載）	人	人
18	その他8（国名記載）	人	人
19	その他9（国名記載）	人	人
20	その他10（国名記載）	人	人

7) 海外からの受け入れ（学生以外；教員、研究者、実践家等）について下表 1～10 までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～10 以外の国で海外からの受け入れがある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

	国名	人数	そのうち 公費補助あり
1	アメリカ合衆国	人	人
2	カナダ	人	人
3	中国	人	人
4	韓国	人	人
5	タイ	人	人
6	フィリピン	人	人
7	イギリス	人	人
8	フィンランド	人	人
9	スウェーデン	人	人
10	オーストラリア	人	人
11	その他 1（国名記載）	人	人
12	その他 2（国名記載）	人	人
13	その他 3（国名記載）	人	人
14	その他 4（国名記載）	人	人
15	その他 5（国名記載）	人	人
16	その他 6（国名記載）	人	人
17	その他 7（国名記載）	人	人
18	その他 8（国名記載）	人	人
19	その他 9（国名記載）	人	人
20	その他 10（国名記載）	人	人

12. 本調査に関するご意見、ご要望がありましたらご記入下さい。

<参考資料>

看護系大学の教育等に関する実態調査
【記入例と注意事項】

大学名

設置主体

回答窓口（お名前）

コメント [k1]: 担当者名を記入

所属

コメント [k2]: 担当責任者が事務の場合には、教務とか学務とかのご担当部署を記入

1. 大学の看護系の学部学科についてお伺いします

1) 貴大学の看護系の学部が 2012 年度において卒業生を出しましたか？

コメント [k3]: 卒業生を出した翌年から完成年次を迎えたものとする。

☒ 出している ☐ 出していない

2) 看護系学部学科の編入制度

※ここでの編入制度とは学士編入・短期大学からの編入など学年の中途からの入学をさします。

☒ ある ☐ ない

3) 2012 年度（2012 年 5 月末日時点）における看護系学部もしくは学科に所属する全教員数（附属研究機関も含む）について、以下の表に人数をご記入下さい。

注 1: その他の定義は、教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含まない。

注 2: 「それ以外の教員」とは、看護教員（看護師免許を有する教員）以外の教員のこと。

例えば、基礎医学や英語、体育等の教養科目や基礎科目を担当の教員のこと。

注 3: 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。

注 4: 0 人の場合は 0 を入力して下さい。

注 5: 未充足数とは、募集しているにもかかわらず、適任者を得られていない人数。

	看護教員	それ以外の教員
教授	12 人	3 人
准教授	9 人	2 人
講師	1 人	0 人
助教	7 人	1 人
助手	0 人	0 人
その他	0 人	0 人
合計	29 人	6 人
未充足数	2 人	0 人

コメント [k4]: 合計数は 35 人です。

4) 2012 年度（2012 年 5 月末日時点）における看護系学部もしくは学科に所属する看護教員（附属研究機関も含む）の年齢構成の各人数をご入力下さい。

年齢構成	人数
29 歳以下	2 人
30～34	3 人
35～39	3 人
40～44	5 人
45～49	5 人
50～54	8 人
55～59	9 人
60～64	2 人
65 歳以上	0 人
合計	35 人

コメント [k5]: 合計数は 35 人です。

5) 2012 年度（2012 年 5 月末日時点）における看護系学部もしくは学科に所属する看護教員（附属研究機関も含む）の最終修得学位名称の人数をご入力下さい。

学位名称	学士	修士	博士	合計
看護学	0 人	5 人	2 人	7 人
保健学	0 人	2 人	10 人	12 人
医学	0 人	0 人	7 人	7 人
教育学	1 人	0 人	1 人	2 人
学術	0 人	0 人	2 人	2 人
上記以外	0 人	0 人	3 人	3 人
学位なし	0 人	0 人	0 人	2 人
合計	1 人	7 人	25 人	35 人

コメント [k6]: 合計数は 35 人です。

***教員一人あたりひとつの学位でご記入ください。その際、最後に取得した学位を記入してください。看護学以外の別の学位も持っているときは、看護学を優先してご記入ください。**

***3) ～5) の右下の合計値内の数が一致しているかをご確認ください。**

2. 看護系大学院についてお伺いします

1) 看護系大学院がありますか

☒ ある ☐ ない

以下2)～3)の質問は、「看護系大学院がある」と回答した大学のみ回答

2) 2012年度において修了生を出しているかどうかについて、お聞きます。

(1) 看護系の修士課程または博士前期課程

☒ 修了生を出している（完成年次を迎えた） ☐ 修了生を出していない

コメント [k7]: 「完成年次を迎えた」とは修了生を出した、あるいは出す予定の年度の翌年次以降のこと。

(2) 看護系の博士後期課程

☐ 修了生を出している（完成年次を迎えた） ☒ 修了生を出していない ☐ 開設していない

コメント [k8]: 修了生を出す予定年度の次年度以降であれば、「修了生を出している（完成年次を迎えた）」としてください。

3) 看護系大学院の2012年度開講状況について、各項目にあてはまるものを1つお選び下さい。

(1) 看護系大学院の開講状況

☐ 平日昼間開講のみ ☒ 平日夜間・土日開講のみ ☐ 左記両方を開講

注1：夜間開講の定義は「18時から開講」すること。

(2) 科目等履修制度の設置

☒ 設置している ☐ 設置していない

4) 2012年度（2012年5月末日時点）における看護学系大学院に所属する全教員数（附属研究機関も含む）について、以下の表に人数をご記入下さい。

注1：その他の定義は、教務補佐員等を指し、授業単位の非常勤講師、実習補助者などは含まない。

注2：「それ以外の教員」とは、看護教員（看護師免許を有する教員）以外の教員のこと。

注3：看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。

注4：0人の場合は0を入力して下さい。

	看護教員	それ以外の教員
教授	6人	2人
准教授	5人	1人
講師	0人	0人
助教	0人	0人
助手	0人	0人
その他	0人	0人
合 計	11人	3人

3. 2012 年度(2012 年 5 月末日時点)における全在学学生数について、以下の表に人数をご記入下さい。

		人数	
		男	女
学部生		25 人	330 人
	上記のうち編入学生	2 人	8 人
修士課程または博士前期 課程院生		2 人	30 人
	上記のうち専門看護師課程	1 人	8 人
博士後期課程院生		0 人	20 人

コメント [39]: 専門看護師課程として区分されている学生数です。区分のない場合は、0 としてください。

4. 2012 年度における看護系学部、学科の入学状況(2012 年 4 月入学生)について、以下の表の項目ごとに人数をご記入下さい。

		定員数		人数(人)	
				男	女
学部生		80 人	志願者数	20 人	244 人
			入学者数	2 人	80 人
修士課程		15 人	志願者数	1 人	20 人
			入学者数	0 人	15 人
	上記のうち専門看護師課程	5 人	志願者数	0 人	5 人
			入学者数	0 人	4 人
博士後期課程		5 人	志願者数	2 人	5 人
			入学者数	0 人	3 人

コメント [310]: 専門看護師課程として区分されている学生数です。区分のない場合は 0 としてください。

5. 2012 年度における卒業生・修了生の数を以下の表にご記入下さい。

また、回答時点で把握している 2012 年度卒業・修了生の取得した、または既取得免許の状況についても、以下の表に記入して下さい。

注：博士後期課程修了とは、修了要件を満たし学位論文の審査に合格し博士の学位を取得した者、満期修了退学は含まない。

		卒業生・ 修了生	卒業時取得・既取得免許(人数)			
			看護師	保健師	助産師	養護教諭 1 種
学部卒業生		82 人	81 人	78 人	0 人	0 人
	上記のうち編入学生	6 人	6 人	6 人	0 人	0 人
修士課程修了		16 人	16 人	3 人	2 人	0 人
	上記のうち専門看護師課程	5 人				
博士後期課程修了		3 人				
論文博士号取得		3 人				

コメント [311]: 専門看護師課程として区分されている学生数です。区分のない場合は 0 としてください。

6. 2012年度における卒業・修了生（2013年3月卒業生・修了生）の卒業・修了時点での就職または進学状況について、伺います。就職者、進学者の総数およびその内訳を以下の表に記入して下さい。

就職先・進学先別		学部卒業生	修士修了生		博士後期課程 修了生
			うち	専門看護師 課程	
就職者 内訳	病院	70人	8人	4人	0人
	診療所	3人	0人	0人	0人
	福祉関係施設	0人	0人	0人	0人
	訪問看護ステーション	2人	1人	1人	0人
	保健所・市町村・健診センター	3人	0人	0人	0人
	企業	0人	0人	0人	0人
	学校	0人	0人	0人	0人
	大学・短大・研究機関等	0人	4人	0人	0人
	専修・各種学校	0人	0人	0人	0人
	その他	0人	0人	0人	0人
進学者 内訳	国内の大学院				
	看護系	2人	3人	0人	2人
	看護系以外	0人	0人	0人	0人
	助産師課程（専攻科、別科、専修学校、等）	2人	0人	0人	1人
	国内の他学部	0人	0人	0人	0人
	海外留学	0人	0人	0人	0人
	その他	0人	0人	0人	0人

コメント [312]: 専門看護師課程として区分されている学生数です。区分のない場合は0としてください。

7. 2012年度における貴大学の看護系の学部、学科、大学院に所属する教員（医療系の資格をもたない人も含む）の研究活動について伺います。研究代表者になっているものについて以下の表に、申請数・採択数・および合計金額をご記入下さい。共同研究者、分担研究者は除きます。

注1：外国政府などによる外貨での実績は、円換算して表記。

注2：申請年度が2012年、採択結果は2013年度のものを記入下さい。研究代表者として新規に申請したもののみ記入下さい。

コメント [13]: 申請件数は2012年に研究代表者として申請したもの。それらの中で、2013年度に採択が決定した数を採択件数としてご記入ください

研究活動		新規件数（研究代表者）		継続件数	合計金額 （千円）
		申請件数	採択件数		
文部科学省	基盤研究（A）	1件	0件	0件	45,000千円
	基盤研究（B）	4件	2件	1件	12,000千円
	基盤研究（C）	10件	6件	2件	11,000千円
科学研究費補助金	挑戦的萌芽的研究	2件	1件	0件	4,500千円
	奨励研究	4件	3件	2件	5,500千円
	若手研究	6件	4件	1件	3,500千円
	特別推進研究	0件	0件	0件	0千円
	その他	1件	1件	0件	1200千円
厚生労働科学研究費補助金		2件	1件	1件	15,000千円
財団等の研究助成による研究		13件	5件	2件	2,000千円
企業等による教育研究奨励費		6件	2件	1件	1,500千円
企業等による受託研究費		5件	5件	2件	3,000千円
その他		3件	2件	2件	1,500千円

8. 2012 年度において看護系の学部、学科が主催して実施した公開講座について件数、総延べ参加人数をご記入下さい。

注：0 件および 0 人の場合は 0 を入力して下さい。

主な対象者	参加費用	件数	総延べ参加人数
一般市民	無料	12 件	560 人
	有料	5 件	320 人
看護職者	無料	7 件	320 人
	有料	3 件	120 人
その他	無料	2 件	100 人
	有料	0 件	0 人

9. 2012 年度における貴大学の看護系の学部、学科、大学院に所属する教員（医療系の資格をもたない人も含む）の実践現場への貢献について伺います。

注 1：同一テーマもしくは同一委員会・審議会の委嘱については期間中数回会議等に参加しても、1 件として数えて下さい。

	病院	保健所、訪問看護ステーション等	職能団体	行政 (国、地方自治体)	教育研究 機関	企業	その他
共同研究	23 件	5 件	13 件	5 件	12 件	2 件	0 件
講師派遣	56 件	15 件	24 件	12 件	24 件	5 件	1 件
その他 (各種委嘱委員等)	23 件	11 件	10 件	16 件	8 件	7 件	2 件

10. 貴大学における、看護関連の附属研究・研修機関について伺います。

- 1) 附属研究・研修機関の有無

ある	ない
----	----

- 2) 「ある」とお答えになった場合は、組織、活動内容等をお答え下さい。

- (1) 組織

注 1：2012 年 5 月末日時点の人数を入力して下さい。

注 2：0 の場合は 0 を入力して下さい。

教員	2 人
研究員	3 人
職員	2 人
その他	0 人

- (2) 財政基盤（複数選択可）

大学の予算内	国・自治体の助成	民間の助成	その他（ ）
--------	----------	-------	--------

(3)活動内容（複数選択可）

市民向けの生涯学習・健康教育 教員や研究員による看護実践の提供 講師の派遣 その他（	国際交流 看護職のための継続教育 認定看護師教育課程 ）	共同研究
---	---------------------------------------	------

11. 2012 年度における貴大学看護系の学部、学科、大学院の国際交流の状況について伺います。

1) 国際交流協定校・施設（姉妹校を含む）がありますか。

ある	ない
----	----

2) 看護系の学部、学科、大学院国際交流協定校・施設がある場合には、下表 1～10 までの国名別に件数をご記入下さい。また、1～10 以外の国で国際交流協定校・施設がある場合は、その他欄に国名を記入し、件数をご記入下さい。

	国名	件数（件）
1	アメリカ合衆国	1 件
2	カナダ	件
3	中国	1 件
4	韓国	件
5	タイ	件
6	フィリピン	件
7	イギリス	件
8	フィンランド	件
9	スウェーデン	件
10	オーストラリア	件
11	その他 1（国名記載）	件
12	その他 2（国名記載）	件
13	その他 3（国名記載）	件
14	その他 4（国名記載）	件
15	その他 5（国名記載）	件
16	その他 6（国名記載）	件
17	その他 7（国名記載）	件
18	その他 8（国名記載）	件
19	その他 9（国名記載）	件
20	その他 10（国名記載）	件

- 3) 看護系の学部、学科、大学院の在学生の留学先（単位取得できるものとする）について下表 1～10 までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～10 以外の国で在学生の留学先がある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

コメント [CPUHS14]: 単位取得できない
海外渡航は含まない

	国名	人数	そのうち 公費補助あり
1	アメリカ合衆国	3 人	人
2	カナダ	人	人
3	中国	1 人	1 人
4	韓国	人	人
5	タイ	人	人
6	フィリピン	人	人
7	イギリス	人	人
8	フィンランド	人	人
9	スウェーデン	人	人
10	オーストラリア	人	人
11	その他 1（国名記載）	人	人
12	その他 2（国名記載）	人	人
13	その他 3（国名記載）	人	人
14	その他 4（国名記載）	人	人
15	その他 5（国名記載）	人	人
16	その他 6（国名記載）	人	人
17	その他 7（国名記載）	人	人
18	その他 8（国名記載）	人	人
19	その他 9（国名記載）	人	人
20	その他 10（国名記載）	人	人

- 4) 看護系の学部、学科、大学院の留学生の受け入れについて下表 1～6 までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～6 以外の国で留学生の受け入れがある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

	国名	人数	そのうち 公費補助あり
1	中国	1 人	1 人
2	韓国	人	人
3	タイ	人	人
4	フィリピン	人	人
5	インドネシア	人	人
6	シンガポール	人	人
7	その他 1（国名記載）モンゴル	1 人	人
8	その他 2（国名記載）ガーナ	1 人	1 人
9	その他 3（国名記載）	人	人
10	その他 4（国名記載）	人	人
11	その他 5（国名記載）	人	人
12	その他 6（国名記載）	人	人
13	その他 7（国名記載）	人	人
14	その他 8（国名記載）	人	人
15	その他 9（国名記載）	人	人
16	その他 10（国名記載）	人	人
17	その他 11（国名記載）	人	人
18	その他 12（国名記載）	人	人
19	その他 13（国名記載）	人	人
20	その他 14（国名記載）	人	人

コメント [CPUHS15]: 国名を正確に記入
すること

- 5) 看護系の学部、学科、大学院に所属する教員（医療系の資格をもたない人も含む）の短期海外派遣（6ヶ月未満）について下表1～10までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～10以外の国で看護教員の短期海外派遣がある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

	国名	人数	そのうち 公費補助あり
1	アメリカ合衆国	人	人
2	カナダ	人	人
3	中国	人	人
4	韓国	人	人
5	タイ	人	人
6	フィリピン	人	人
7	イギリス	人	人
8	フィンランド	人	人
9	スウェーデン	人	人
10	オーストラリア	人	人
11	その他1（国名記載）香港	6人	6人
12	その他2（国名記載）	人	人
13	その他3（国名記載）	人	人
14	その他4（国名記載）	人	人
15	その他5（国名記載）	人	人
16	その他6（国名記載）	人	人
17	その他7（国名記載）	人	人
18	その他8（国名記載）	人	人
19	その他9（国名記載）	人	人
20	その他10（国名記載）	人	人

- 6) 看護系の学部、学科、大学院に所属する教員（医療系の資格をもたない人も含む）長期海外派遣（6ヶ月以上）について下表1～10までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～10以外の国で看護教員の長期海外派遣がある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

	国名	人数	内、公費補助あり
1	アメリカ合衆国	人	人
2	カナダ	人	人
3	中国	人	人
4	韓国	人	人
5	タイ	人	人
6	フィリピン	人	人
7	イギリス	人	人
8	フィンランド	人	人
9	スウェーデン	人	人
10	オーストラリア	人	人
11	その他1（国名記載）	人	人
12	その他2（国名記載）	人	人
13	その他3（国名記載）	人	人
14	その他4（国名記載）	人	人
15	その他5（国名記載）	人	人
16	その他6（国名記載）	人	人
17	その他7（国名記載）	人	人
18	その他8（国名記載）	人	人
19	その他9（国名記載）	人	人
20	その他10（国名記載）	人	人

7) 海外からの受け入れ（学生以外；教員、研究者、実践家等）について下表 1～10 までの国名別に人数と、そのうち公費の補助があった人数をご記入下さい。また、1～10 以外の国で海外からの受け入れがある場合は、その他欄に国名を記入し、人数をご回答下さい。

	国名	人数	そのうち 公費補助あり
1	アメリカ合衆国	1 人	人
2	カナダ	人	人
3	中国	人	人
4	韓国	人	人
5	タイ	人	人
6	フィリピン	人	人
7	イギリス	人	人
8	フィンランド	人	人
9	スウェーデン	人	人
10	オーストラリア	人	人
11	その他 1（国名記載）モンゴル	1 人	1 人
12	その他 2（国名記載）	人	人
13	その他 3（国名記載）	人	人
14	その他 4（国名記載）	人	人
15	その他 5（国名記載）	人	人
16	その他 6（国名記載）	人	人
17	その他 7（国名記載）	人	人
18	その他 8（国名記載）	人	人
19	その他 9（国名記載）	人	人
20	その他 10（国名記載）	人	人

12. 本調査に関するご意見、ご要望がありましたらご記入下さい。

学部や大学院の入試に関する情報もアンケートに加えてほしい。